

2026年6月9日

各位

株式会社ヤマタネ

新潟県「棚田みらい応援団」の活動に参加

～棚田の保全・維持管理に協力し、「日本で一番棚田を守る企業」を目指す～

株式会社ヤマタネ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：河原田 岩夫、以下「当社グループ」）は、2026年6月6日に新潟県十日町市水沢地区で開催された棚田における田植え活動に、「棚田みらい応援団」として、当社グループ社員の有志23名が参加いたしましたことをご報告いたします。なお当社グループは、新潟県が取り組む、棚田の保全と維持管理を目的とした「棚田みらい応援団」の趣旨に賛同し、今年度より協力企業にエントリーしています。



▲2026年6月6日、新潟県十日町市水沢地区にて

当社グループは、「産地の『続く』を支える」を合言葉に、持続可能な営農の実現に向けて産地の課題解決に取り組んでおります。その中でも、棚田の耕作放棄地化は喫緊の課題であると認識しており、米穀卸を祖業とし100年以上コメに関わってきた当社グループとしてこの課題に向き合うべく、2023年より棚田保全の取り組みを開始しています。新潟県では、「星峠の棚田」（十日町市）の保全に取り組むべく当社が企業オーナーとなり、一定程度の株式を保有する当社株主の皆さまを申込制で田植え・稲刈り体験へご招待するなど、当社株主優待制度に棚田保全活動を取り入れております。また富山県では、「長坂の棚田」（氷見市）の遊休農地に、日本初の棚田・農をキーコンセプトとした完全エネルギー自給型宿泊施設“WEAZER”の建設を進め、地域振興と持続可能な地域づくりを目指しています。

新潟県は、棚田保全活動に参加する企業である「棚田みらい応援団」を募集し、棚田地域の営農活動・地域活性化を支援しています。当社グループは今年度より「棚田みらい応援団」の協力企業として参画しており、この度6月6日に開催された十日町市水沢地区に

おける田植え活動に、当社グループ社員 23 名が参加しました。

当日は、晴天に恵まれ、当社グループを含めた「棚田みらい応援団」協力企業 4 社の社員が田植えを行いました。参加社員からは「棚田での生産活動に直接携わることができ、非常に貴重な経験だった」との声が上がったほか、棚田が果たす役割や、その維持・保全における重要性への理解を深める契機となりました。

当社グループはこれからも、棚田の保全活動に積極的に参加していくことを通して棚田地域における関係人口の創出に貢献するなど、「日本一棚田を守る企業」に向けた取り組みを行ってまいります。

<「棚田みらい応援団」活動概要>

日時：2026 年 6 月 6 日（土） 9：00～13：00

場所：新潟県十日町市水沢地区の棚田

参加団体：株式会社サンワコン、敦井産業株式会社、
新潟空港ビルディング株式会社、株式会社ヤマタネ

作業内容：田植え

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヤマタネ 経営企画部 広報担当

[お問い合わせフォーム](#)